

令和4年度

令和5年1月10日

学校だより



かもいの(な)(か)(ま) 一人じゃないよ!

夢に近づけ 今、鴨居がいいカモ!

横浜市立鴨居小学校

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/kamoi/>

子どもたちに原体験を

校長 堤達俊

明けましておめでとうございます。本年もよろしくお祈りします。

例年より少し長い17日間の冬休みが明け、子どもたちが学校に元気に登校してきました。

年末・年始の様々な行事を各ご家庭で楽しく過ごせたことと思います。日本は四季折々の行事や自然に親しめる国です。

学校でも、年末に、2年生が霜柱や氷を手にとってその冷たさを味わっていました。「こんなに霜柱が伸びていたよ。」「地面が真っ白だね。」「氷がこんなに厚い!」「手がしびれてきたよ。」こんな声が次々と聞かれました。



このような自然に直接関わる「原体験」は、子どもたちにとってとても大切なことです。触覚・味覚・臭覚をはじめとした多様な感覚を総動員して体で直接感じ取り、感動・驚きなど心を揺さぶられる体験をする。そのような活動は、子どもの思考力・判断力・表現力などの資質・能力の育成につながっていきます。特に、学校などの集団活動では、感じたことを伝え合うコミュニケーション力の育成にも広がっていきます。本校でも、生活科や理科をはじめ、総合的な学習の時間を活用しながら直接経験できる場を意図的に設けています。コロナ禍でマスク着用の機会が増え、相手の表情を読み取ることが難しくなっている今、原体験の場を増やすことで、子どもたちの感性や感受性を少しでも高めることができると考えています。

そして、タブレットという現代のツールを使って、原体験を通して感じたことを共有し、互いの違いを認め合う。学校の果たせる役割がますます高まっていることを感じています。

【鴨居の自然 ～ゴマちゃん発見!～】

学区内の公園でエノキの木を見つけました。エノキは、国蝶オオムラサキやゴマダラチョウの幼虫が餌としている木です。彼らは、冬になって葉が落ちると、幹を下りて、落ち葉の裏側で越冬します。そこで、落ち葉を一枚一枚めくってみると、ゴマちゃん（ゴマダラチョウの幼虫）がいました! コアラやなにかのキャラクターに似ている萌え顔?です。是非、一度実物をご覧ください。

